

代表質問

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります

誰もが安心して暮らせるまちづくりを



動画視聴

公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

本市における新型コロナウイルス感染症への対応

問 新型コロナウイルス感染症対策の取組状況は。

答 大牟田市健康危機管理対策本部を設置し、感染拡大防止策を講じている。

問 市内外の企業、団体、個人の方からの本市への医療物資の寄贈状況は。

答 マスク約9万枚、消毒用アルコール72リットル、次亜鉛素酸水1,100リットルなどを寄贈いただき、介護事業所、障害福祉事業所や医療機関等へ配付している。

再発言 多くの方々からの寄贈に対し感謝を申し上げる。

問 発熱・せき・喉の痛み等の症状がある場合の相談対応とPCR検査体制は。

答 熱やせきの症状がある場合は、かかりつけ医に電話相談し、妊婦や持病等の重症化リスクのある方は、保健所の相談センターに相談いただきたい。PCR検査は帰国者・接触者外来で行うものと、地域外来検査センターで行うものの2通りがある。

再発言 市民の不安解消や相

談者に寄り添いながら体制強化し、感染の疑いがある際には早急なPCR検査ができる体制を。

問 新型コロナウイルスが終息しない中

での避難所や市民の備えは。

答 感染予防として、人の密集を回避するため、多くの避難所の提供など行う。備えについては、6月15日号の広報おおむたに特集を掲載する。

再発言 避難所における感染予防対策と感染予防事項等を市民に周知徹底されたい。

問 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民生活の実態や約5,400の市内事業者の実態を調査すべきでは。

答 商工会議所等の関係機関・関係団体と連携し、今後も調査を行っていききたい。

再発言 実態を調査し、国・県の支援が届かない部分への市独自支援策に生かされたい。

問 特別定額給付金の状況は。

答 既に全体の9割以上の約5万2千件が申請され、約44%の給付が完了している。

再発言 特別定額給付金は市民に希望と安心を与えるものであってほしい。誰一人取り残すことなく無事故の取組を。

問 本市の介護・障害者施設への感染症対策の支援状況は。

答 5月に不織布マスク約50万枚、消毒液約450本を全ての事業所に配付している。

再発言 介護施設等の関係者が安全に業務に従事され、利用者が安心してサービスを利用できるよう支援の強化を。

問 学校の臨時休業と学校再開後の取組と課題は。

答 様々な学習支援や再開時の生活リズムを整えるよう支援を行っている。また、国や教育委員会からの通知及びガイドラインにのっとったマニュアルを作成し、安心して学校生活ができるよう努めている。課題は、梅雨や暑さなどを踏まえたコロナ対策がある。

再発言 中学校はミストシャワーが未設置のため、設置を。また、GIGAスクール構想などにより多様な子どもたちを誰一人取り残さない取組を。



問 市庁舎整備の考え方については、新型コロナウイルス禍により、価値観や社会常識を根本から見直す必要があることから、再検討すべきでは。

答 今後、感染症対策上必要なスペースやICT機能の部分を併せて考える必要がある。

問 新型コロナウイルス感染症による財政悪化が見込まれる中、市民や経済への影響は。

答 感染予防と経済社会活動の両立で、これまでと違う形で影響が出てくると考える。

再発言 市民生活支援のため、各種事業を見直すなど対応を。